# 旬ネタフォーカス

SHUN-NETA FOCUS

大分の今に“ピント”を合わせ、
編集スタッフのアンテナに“ピンと”きた
トピックを紹介するコーナー。

SHOP | TREND | EVENT
PROJECT | GOODS

2021.5
Vol. 2

PROJECT

## 別府を舞台にした映画プロジェクトがスタート！

**別府を舞台とした短編上映を制作し、『別府ブルーバード劇場』の幕間で上映することを目指す、「Beppu短編映画プロジェクト」がいよいよ始動。その一番手は、『凶悪』、『凪待ち』、『孤狼の血』など、今まさにノリにのっている白石和彌監督が担当することに。一体どんな映画になるのか、今回のプロジェクトに込める想いを伺いました。**

『別府ブルーバード劇場』での会見の様子

**編…今回別府で短編映画を撮るようになった経緯は？**

**白石監督（以下白）**…2019年に開催された「Beppuブルーバード映画祭」にゲストとして呼んでもらった時、すごくいい思いをさせていただいたんですよ（笑）。お客さんも温かかったし、関わっているスタッフもいい人ばかりだし、その時に来ていた映画監督さんや俳優さんとも夜な夜なご飯を食べたりお酒を飲んだりして、それが縁で仲良くなったり…。

**編…いろんな縁が繋がったんですね。**

**白**…そうなんです。映画祭でそんないい思いをしたんですが、コロナ禍になり…。僕らは映画人なので映画館やミニシアターを何とかしたいっていう思いは強くて。昨年秋に『孤狼の血』の続編を広島の呉で撮影したのですが、町に人が全然いなくて。これはもう地方を含めてみんな苦しいんだなと思ったんですよね。そんな時に森田さん（※）から「別府で映画短編集を作ろうと思っているから監督をやってくれませんか？」と声をかけていただいて。映画界とか映画館とかの応援の仕方は作り手だからいろいろあるのですが、一番は映画を作るのが仕事なので、元気になってもらえる映画を作り、それが上映できてというのが一番いいのではないかと思って。スケジュールの問題はあるにせよ、やらせてくださいと二つ返事でお答えしました。

**編…撮影場所の別府についてはどんなイメージがありますか？**

**白**…別府って何でもあって魅力的な街ですよね。繁華街があったり、山があったり海があったり、それかと思えば番頭さんもいなくて100円をカランと入れて入る温泉があったりと…あんなのは見たことないですか？ら、他では（笑）。それだけでも何か普段ないドラマが作れるというか、シチュエーションが作れるんじゃないか、いろんなことができるんじゃないかというワクワク感はすごくあります。いろんな別府の姿を見せたいですね。

**編…撮影のためにいろいろ見て回ったりしているんですね。**

**白**…はい。自分からリクエストしたり、地元の人の「ここぜひ見てください」という所を見て回ったりしています。地元の人は普段見ているからあまり気にならないかもしれないけど、別府は不思議なスポットがいろいろあって面白いですね。関係者たちと一緒に別府を回っていると、みんなの期待を感じるし、「一緒に楽しいことをしたい！」という思いがすごく伝わってくるので、その気持ちには僕もいい形で乗っかりたいですね。みんなで面白いもの、面白いことをして盛り上げたい。映画を作るために各所を回っているんですが、みんないろいろ別府のことを教えてくれて。なんかこれはもう僕を移住させようとしていないか？っていう…（笑）。

**編…（笑）。別府って人と人との距離感が近い感じがしますよね。温泉があるので裸付き合いが多かったり、観光地という土地柄もあるのかも。**

**白**…そうですね。人が温かいし温泉もあるしで、別府に来たらストレスが半分くらいなくなるんじゃないかっていうくらい、毎回癒やされていますね。

**編…今回は白石監督がトップバッターで、その後もいろんな監督たちがリレー形式で短編映画を作るんですよね。とても楽しみです。**

**白**…続く監督の人たちにいい感じで繋げていきたいですね。そういう意味ではトップバッターなので、その役目を果たしたいなって。何で僕がトップバッターなんだろう？と思う部分もありますが…（笑）。まずは年末に開催予定の「Beppuブルーバード映画祭」で公開予定ですが、この15分ほどの短編を撮りためていけば、別府だけじゃなく他の映画館でも上映できるかもしれない。そうなれば「別府へ行ってみよう」とか、「移住したいな」っていう人が増えるかもしれない。そう考えると夢が膨らみますね。

※森田さん…『別府ブルーバード劇場』の館長補佐・映画ライターの森田真帆さん

別府で撮影のロケ地を探してる様子

### Beppu短編映画プロジェクトとは？

別府市を舞台に「日本屈指の映画監督」が約15分間の短編映画を制作。監督はリレー方式に代わっていき、それぞれ異なったオリジナルストーリーで制作する。完成した映画は、年末に開催予定の「Beppuブルーバード映画祭」でお披露目となり、その後、「別府ブルーバード劇場」での常設上映を目指す。また、売り上げの一部は、別府の共同温泉の改修支援にも充てられる予定。

**profile 白石 和彌（しらいし かずや）**

1974年北海道生まれ。2013年公開の映画『凶悪』で新藤兼人賞金賞などを受賞し、注目を集める。『凪待ち』、『彼女がその名を知らない鳥たち』、『ひとよ』などヒット作を重ね、今年8月20日には、『孤狼の血』の続編、『孤狼の血 LEVEL2』がいよいよ公開。

編集部㊐の旬ネタ！